

畜舎の火災事故を起こさないために！

先般、県内において畜産関係施設の火災事故が発生しました。

現時点では原因は特定されていませんが、

火災事故から家畜・畜舎を守るため、再度点検を行いましょよう。

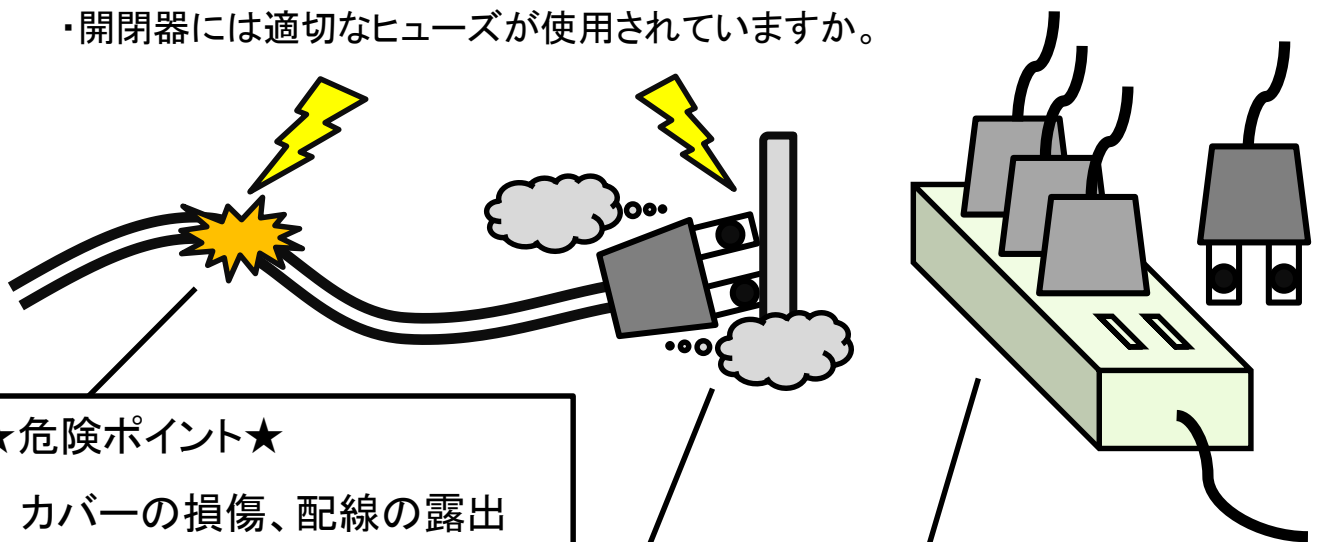
1. 電気設備と配線は、漏電と過熱の点検を行いましょよう。

(1) 絶縁の損傷やホコリの付着により漏電がおき、火災や感電の原因となります。

- ・電気設備、配線が雨や結露などにより傷んでいませんか。
- ・扉に挟まれたり、ネズミにかじられたことによる配線の露出はありませんか。
- ・コンセントやプラグ、スイッチの周囲にホコリはたまっていますか。
- ・電気保安協会等の定期点検を受けて、漏電の有無を確認しましょよう。

(2) 電気の使用容量をオーバーしたり、コンセント・スイッチの接触が悪くなると、過熱による発火の原因となります。

- ・タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- ・プラグはコンセントにしっかり差し込まれ、老朽化していませんか。
- ・開閉器には適切なヒューズが使用されていますか。



★危険ポイント★

カバーの損傷、配線の露出

★危険ポイント★

ホコリ、水濡れ、コンセントが抜けかけている

★危険ポイント★

容量オーバーのタコ足配線

2. 暖房器具等の使用時は取り扱いに注意しましょう。

- ・暖房器具等の周囲に乾草、エサ袋、木材等の燃えやすいものを置かない。
- ・石油ストーブは火をつけたまま給油や移動をしない。

★危険ポイント★

暖房器具周囲の可燃物、ホコリ

点火したままの給油や移動

高温になったランプの落下、煙草の吸殻の始末などにも注意が必要です。



暖房器具は、使用前の点検・清掃も大切です。
シーズン前に確認しましょう。

3. 畜舎火災の発生を想定した準備をしておきましょう。

- ・消火器具を整備しておきましょう。
- ・消火訓練に取り組みましょう。
- ・家畜の避難方法や避難場所を検討しておきましょう。



消火器の設置・点検や、
日常的な畜舎の清掃・整理整頓を行いましょう。

万が一の火災で死亡獣畜が発生した場合、速やかな対応が必要となります。死亡獣畜の引き取り先について、再確認をお願いします。



飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468

TEL: 0577-33-1111 FAX: 0577-32-9019 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp